

コンテンツ

1. 平成27年度進路状況
2. 事務局より

1. 平成27年度進路状況

平成27年度におけます機械工学科計測系プログラムの卒業生および関係研究室の大学院修了生の進路状況につきまして、9月まで就職担当の後藤俊幸先生にご寄稿いただきました。Wordファイルとして添付いたします。

なお、10月から就職担当はベイ先生になります。

添付ファイル： H27年度進路状況報告.doc

2. 事務局より

2. 1 名工大の学科改組について

すでに大学のホームページにて公開されていますように、来年の新入生から大学の学科が改組されます。

<http://www.nitech.ac.jp/edu/index.html>

変わった点は、学科が再編成されたことと、大学院を含めた6年一貫教育の制度が併設されたことです。また、大学院の専攻が学部の学科と直接対応するようになりました。詳しくはWEBでご覧ください。

で、「計測」はどうなったかと申しますと、現在の計測系プログラムの教員のほとんどが物理工学科応用物理分野へと移りました。OB会としての計測会と応用物理分野との係わり方につきましては、現在検討しているところであります。

OBの皆様からのご意見がありましたら、私なり、他の関係者なりにお伝えくださいますようお願いいたします。

応用物理分野では、「材料開発の研究者」の養成を目指したカリキュラムが組まれていまして、誤解を恐れずに言えば、昔の計測物理講座に特化したようなものとなっております。材料開発関係の人材確保を考えておられる方は、物理工学科応用物理分野の卒業生を視野に入れて下さいますようお願いいたします。

なお、学科改組は学年進行で行いますので、応用物理分野の学部学生が卒業するのは4年半後ということになります。それまでは、機械工学科計測系プログラムの学生を世に送り出しますので、これまで同様のご最良の程をお願いいたします。

大学院に関しては、2年半後に修了生を送り出すことになります。

2. 2 講堂と4号館

キャンパスの建物の様子が少し変わりました。まず、旧計測棟（17号館）は取り壊され、4号館が新築されました。また、講堂が取り壊されました。新しい建物は、来年お目見えすることです。

<http://www.nitech.ac.jp/news/news/2015/3906.html>

2. 3 ホームカミングデー

名工大では、卒業生の皆様との結びつきを持つことに力を入れております。その一つとして、「ホームカミングデー」というものを設けました。これは、卒業生が母校に来てもらう日を意味しております。工大祭の日（11月21日土曜）に設定されております（現在は11月に工大祭を実施しております）。計測会としての行事は、今年は見送りになってしまいました。

<http://www.nitech.ac.jp/guest/hcd/>

2. 4 「ごきそ」の原稿募集

名工大全体のOB組織として「名古屋工業会」があり、計測会は名古屋工業会と協力しながら運営している関係にあります。（関係のあり方は、随分前から議論され、現在も検討中です。）

その名古屋工業会の機関紙が「ごきそ」です。計測会にも原稿の割り当てが来ているということもあり、「ごきそ」の原稿を募集中です。内容に関しては、読者の方が興味を持って読めるものであり、支障のないものであれば、特に制限はありません。

原稿を書いて頂ける方や、原稿が書けそうな方をご存知の方はご一報頂ければ幸いです。また、原稿を依頼させて頂きましたときには、前向きにご検討下さいますようお願いいたします。

2. 5 名工大新聞

名工大新聞なるものが発行されています。計測会のメルマガでは、あまり名工大の情報が多くないので、気になる方はご覧下さい。

<http://nitpress.wordpress.com/>

あとがき

後藤俊幸先生には、就活状況を詳しく解説して頂きました。七変化とも思えるリクルート活動のありかたに、学生への指導もままなりません。回想すれば、バブル前までのやり方の功罪が浮かんでまいります。（米谷）

メルマガの配布停止、発送先変更・追加につきましては、米谷
yoneya@nitech.ac.jp

までお知らせ下さいますようお願い致します。

発行人 大鑄史男 (F49), 米谷昭彦 (F60) 文責：米谷